

3 かぞくといっしょに

(1) おうちの中をのぞいてみよう

① だれが、何をしているかな？

ねらい 家庭生活の様子を振り返ることで、資源、エネルギーなどを消費するとともに、それらがさまざまなものを排出しているということに気付く。

ポイント 無駄を指摘するよりも、ものや資源、エネルギーを大切にしよう、家族で協力していることへと意識を向ける。

関連

- ・道徳科教科書 1年
P22～24 ⑥いっしょにするよ
- ・道徳科教科書 2年
P156～157 ⑦あかりをかこんで
- ・生活科教科書 上
P82～91
「かぞくにここにこ大きくせん」

■ぼく、わたしのおうちでは？

◇イラストを見ながら、家庭にある仕事の種類や、誰がどんな役割をもっているのかなどを話し合うことで、自分も家族の中の一員であるという意識をもつようにする。

◇「誰が」という点は、各家庭によって違うことを考慮して、話し合う。

3 かぞくといっしょに

(1) おうちの中をのぞいてみよう

① だれが、何をしているかな？

記入例

- 子どもが使わなくなったおもちゃと使うおもちゃを分けてかたづけている。
- お父さんが分けたごみを運んでいる。
- おばあちゃんが衣類をかたづけている。
- お母さんがお茶碗を洗っている。
- 子どもが食器を下げている。

…など



② 大切にしているかな？

留意点

- イラストを活用しながら、様々なもの、資源、エネルギーなどを無駄なく消費する工夫について考えることもできる。
- 工夫することの大切さに気づき、家族の一員として自分なりに協力できることを考えることもできる。



② 大切にしているかな？

こんなときに何を大切にできるかな？

あ


 い
 う
 え
 お
 か

記入例

- トイレでは、水を流す時は1回だけにしているよ。
- トイレトーパーも使う分だけ切って使っているよ。
- 勉強をするときだけ、机の電気スタンドを点けているよ。
- お風呂の残り湯を使って洗濯をしているよ。
- 歯磨きをするときは、水を流しっぱなしにしていないよ。
- 服のボタンが取れたり、破れたりしても、直して着ているよ。
- 牛乳パックを使って、工作をしたことがあるよ。 など

かみいんじょうこま

〈例〉

あ:水、トイレトーパー

い:電気

う:お湯

え:水

お:服

※服を大事に長く使う工夫として

か:牛乳パックや空き箱

■湯が温かいうちに、家族みんなが入るよさも知らせる。

30

30